

特集

★人材育成に取り組むクラブ★

NPO法人 南部町総合型地域スポーツクラブ (スポnetなんぶ) 鳥取県西伯郡南部町

活動基盤・活動環境をより充実させ、持続可能な総合型クラブの運営をめざすには、地域住民の主体的な参画によって推進され持続的な活動が行えるよう、新しい人材を積極的に受け入れ、世代交代を図りながら次世代の育成・継承に係る体制を整えることが必要となります。

そこで今回は、人材育成に取り組むクラブについてご紹介します。

1

クラブ概要

「さまざまな世代がスポーツを通じてココロもカラダも健康に いつまでも地域で活躍できる活力あるまちづくり」を理念として、平成24年に南部町総合型地域スポーツクラブ(愛称:スポnetなんぶ)を設立。翌年NPO法人化し、平成26年4月から「総合福祉センターしあわせ」(プール・トレーニングルーム・お風呂を設備)の指定管理を受託。クラブの本格的な活動がスタートしました。

スイミングスクール・ダンス・体操・ヨガ等の定期教室や、グラウンドゴルフ・ウォーキング・卓球等のサークル活動など30種類以上のプログラムを展開しています。

平成27年には、マイクロバスを購入し(toto助成)、定期教室用の送迎車両として活用し会員エリアを拡大。体育館・グラウンド・屋内ドームなどの指定管理施設も順次受託して活動拠点も増やしてきました。当初、785名だった会員数は、現在では1,100名を超える方にご利用いただいています。

また、平成30年にはスポーツ少年団を、令和3年には町体育協会の事務局機能を、町から移管を受け、それぞれクラブのジュニアチーム事業、マスターズクラブ事業として新たに展開しています。

当初27名だったスタッフも、現在36名を雇用。加えて17名の外部指導者と42名の有償ボランティアの方にも活動を支えてもらい、合計95名が活動に携わっています。

法人化から10年を迎えましたが、「介護予防事業」「生活習慣病予防事業」「子育て」「教育」「観光」「まちづくり」などさまざまな分野で、行政と協働で事業を企画・実施して、スポーツや運動を通じた「まちづくり」の推進に取り組んでいます。



スタッフのみんな

2 クラブ環境を整備し、雇用の創出と人材育成に着手

人材の確保をめざし、不安定な雇用条件を改善 面談や内部研修で意識の向上を図る

クラブの運営を持続的なものにしていくためにも、地域スポーツに携わる者の雇用を創出し、かつ安定した雇用としていくことを大切にしてきました。

特に、クラブの収入基盤となるスイミングスクールの指導等を担う運動指導員は、特殊な職業のため、求人をかけてもなかなか人が見つからず苦勞してきました。クラブがスタートしたばかりのころは、経営的に先の見通しが立たず、パート職員や契約社員を優先して雇用していたので余計に苦勞しました。なんとか見つかったも、不安定な雇用条件ということもあり、慣れてきたころに辞めていくスタッフも多く、その欠員に対して求人をかけるも代わりがなかなか見つからず、見つかったもまた一から育てるという繰り返りで、クラブサービスを向上していこうにも、正直もどかしい状況が続いていました。

新規教室や事業の企画、会費設定の見直しや指定管理施設等の新規受託を通じて、収入源を増やしていき、徐々に正規雇用スタッフの枠を増やし、給料水準も少しでも改善できるように給料表や手当も変更してきました。

人材を確保すべく環境を整えていくと同時に、スタッフに対してクラブ理念や行動指針の浸透をしていくことも大切に取り組みました。商工会等にお世話になり業務チェックリスト(クラブ業務に携わるうえで大切にしている姿勢や専門技術等の達成度を自己評価するためのリスト)を作成し、それを活用しての年2回の振り返りチェックから面談を導入したり、スタッフの※OJTや※OFF-JTを通じた内部研修やミーティングを通して、熱意の創出と専門的知識・技術の向上に取り組んできました。

※OJT

On the Job Trainingの略称。上司などが指導役となり、実務を通して知識やスキルを身につけてもらう人材育成法。

※OFF-JT

OFF the Job Trainingの略称。日常の仕事を通じて教育を行うOJTに対し、特別に時間や場所を取って行う教育・学習を指す。

資格取得に関しても積極的に支援を行う

外部での研修や資格取得講習会への参加についても、クラブからの参加費助成など金銭的な支援を行ってきました。JSPO公認クラブマネージャーやアシスタントマネージャーなどクラブ運営に直接役立つ資格から、健康運動指導士やJSPO公認水泳教師、そのほか指導技術アップにつながるものなどへ予算立てをして順次希望に応じて参加の機会を設けてきました。新規採用職員には、ビジネスマナー研修会への参加もしてもらい、他業界の新規採用者と共に学べる場への参加を促してきました。

気軽に参加できる講習会も企画。指導者たちの意見交換の場に

また、近隣で活躍されている指導者を講師としてお招きし、クラブで実践できる技術等を学んでもらう講習会も開催しています。内容によっては、地域のボランティア指導者の方へも声掛けをし、一緒に勉強するようにしています。ジュニアチーム(スポーツ少年団)やクラブ事業に携わる指導者の方は、日々お忙しくされており、遠方での研修会等に参加する余裕がない方も多いです。そのような方でも、気軽に参加していただけるように、さまざまな種目共通で使える子どもたちのトレーニング研修会、安全講習会、保護者も巻き込んでの子育てコーチングセミナーの開催。時にはお酒を飲みながらの意見交換会をすることで、日ごろの悩みを共有し、また明日からの子どもたちへの指導のモチベーションを高めることにつながればと開催してきました。

【これまでにクラブが企画した研修会の一例】

- 子どもたちの競技パフォーマンスを向上するトレーニング法
- 競技パフォーマンスを向上する靴選び
- 子どもたちのモチベーションを高めるコーチング法
- 救急法講習会、水上安全講習会
- 冬に差がつくトレーニング講習会
- キネシオテーピング講習会
- 体幹トレーニング講習会
- 冬に差がつくトレーニング方法
(子どもたちの発育・発達に応じたパフォーマンスアップ)
- やる気と能力を引き出す子育て法
- ティーチングからコーチングへ傾聴・承認・質問で子どもの能力をどう引き出すか?
- 部活動指導員合同研修会
- 部活動の地域移行セミナー

研修会の内容については、スタッフや地域の指導者が希望される内容をベースに、近隣で講師を務めてくださる方を探すことから始めます。また、クラブマネージャーやスタッフが、こんな内容で勉強してもらいたいと日ごろから感じているテーマを取り入れることもあります。

講師に関しては、予算の関係上、遠方からお呼びする機会は少ないですが、「やる気と能力を引き出す子育て法」のセミナーは近隣のスポーツクラブから声をかけていただき、合同で京都から講師をお招きして開催しました。また、部活動の地域移行セミナーも、鳥取県スポーツ協会の支援により大阪から講師をお招きして開催しました。

参加費は、クラブに携わっている方や、南部町内で指導をされている方は、材料費以外には徴収していません。それ以外の方からは、1,000円程度の参加費をいただく場合もあります。参加者は各研修会で10名程度。一番多いときで40名ほど参加いただいたこともあります。



子どもたちのやる気を育てる
コーチング研修会



スタッフと地域のボランティア
指導者さんの合同研修会



合同での安全管理講習会

3

試行錯誤、失敗の連続…を乗り越えて 若いスタッフが活躍する場に

ひたむきな姿勢で企画を盛り上げる

これまで手探りでいろいろなことを試行錯誤してきました。人材育成の経験は乏しく、これといったノウハウもなく何が正解かもわからないなかで、もちろん失敗の連続でした。想いを伝えたいところが相手には十分に伝わっていなかったり、相手が求めているサポートが必要なときにできず、すれ違いが重なったり、クラブを軌道に乗せていくために新しい事業や企画に取り組みましたが、みんなの仕事の忙しさに輪をかけてしまい、さらにスタッフとのコミュニケーションがとれなくなったりと…。

そのような状況で、スタッフの想いや熱意などチームのベクトルを同じ方向にしていけることができず、辞めていくスタッフもいました。思い返せば反省点ばかりですが、それでも今、20代～30代の若い世代のスタッフが一生懸命にクラブを盛り上げてくれています。クラブや地域で育った子どもたちが、スタッフとして還ってきてくれています。失敗を繰り返しながらも、また新しい人材に出会うことができ、その若い世代のスタッフたちが、地域の方に喜んでいただくためさまざまな企画を練りチャレンジしてくれています。

特にコロナ禍でさまざまな制約を受け、苦しい期間が続きましたし、5類(感染症)になった以降も以前のようにはいかず、利用の伸び悩んでいる期間が続いていますが、スタッフの頑張りがあるからこそ、クラブ全体のモチベーションも高まりますし、素直でひたむきな姿勢があるからこそ、地域の方や会員の皆さまにも、それを受け入れ寄り添っていただくことができています。

4

地域で育った子どもたちが 支える側となる…好循環をめざして

さらに広がるクラブが果たすべき役割に対応する人材育成を

「体を動かす」機会や場が減少するとともに、複雑・多様化した社会のなかでストレスや生活習慣病の増加、少子高齢化、価値観の多様化、人間関係の希薄化などにより余暇の過ごし方が見直されてきました。また、子どもたちも、いじめや不登校の問題をはじめ、仲間づくりなどの社会性の欠如、元気に遊ぶ子とそうでない子の二極化の拡大、生活習慣病の増加など、子どもたちの問題も深刻化しており、家庭や地域社会で担うべき分野、社会や生活の変化に対応した教育力の充実がいっそう求められるようになっていきます。

めまぐるしく変化する時代であっても、スポーツをすることによって得られる感動、豊かな心、人と人とのつながりは変わらずに存在します。

このような状況のなかで、健康スポーツ・文化振興に関する事業を通じて、地域の方の健康保持・増進に努め、他団体との連携を図り、生涯スポーツの場を確立していき、地域における青少年の健全育成、住民同士の交流の活発化にと、クラブが果たすべき役割はますます広がっていきます。今後10年、20年と持続可能なクラブ運営をしていくためにも、想いや情熱を持ったスタッフがそ

の中心となって頑張ってくれることが、とても重要です。引き続きスタッフと一緒に悩み喜びを共にしながら、ただスポーツを個々が楽しむだけでなく、スポーツを通じて地域の方に寄り添い、交流・支え合いの輪を育てながら、地域課題や社会課題に立ち向かっていきたいと思います。そこで育った子どもたちが、次は支える側となって還ってきてもらえるような人材の好循環をめざし活動していきたいです。

NPO法人南部町総合型地域スポーツクラブ(スポnetなんぶ) クラブマネジャー 板 真悟

クラブプロフィール

設立年月日 平成24年11月4日(平成25年12月4日 法人登記)

所在地 鳥取県西伯郡南部町法勝寺331-1

運営 会員数: 1,149名(令和5年12月現在)、予算規模: 1億4,200万円(令和5年度)

特徴

- ・44種類の定期活動を実施
- ・指定管理施設4施設運営
(プール・トレーニングジム・体育館・グラウンドなど)
- ・スポーツ少年団、マスターズクラブ、マラソン大会事務局
- ・100歳体操など介護予防事業等受託
- ・37名雇用

連絡先 〒683-0351 住所: 鳥取県西伯郡南部町法勝寺331-1
TEL: 0859-66-5400 FAX: 0859-66-2901
HP: <https://www.suonetnanbu.jp>
E-mail: shiawase@suonetnanbu.com